

平成29年度 出納室 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
会計管理者 久保田 秀正 	●使命 私たち出納室は、公金の収納・振込・資金運用を適正適確に行い、市民から信頼される事務処理を遂行します。 ●基本方針 ①正確な会計事務を行いつつ業務改善を行います。 ②安全かつ有効な資金運用を図ります。	所管課	出納室		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			4人	人	4人
		一般会計	33,576 千円		
		特別会計	千円		
		計	33,576 千円		
(うち人件費)	(30,529 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	正確な会計事務を行いつつ、業務改善を行います。 正確で適正な事務処理をするため、会計事務担当者への指導強化に努めるとともに、効率的な事務処理方法の研究をします。 支払事務の電子決済導入を目指して調査を行います。	会計事務の説明会を市全体の研修計画の一コマとして実施する。 具体的な事務処理手順を示し、周知する。 「会計事務の手引き」並びに「Q&A」の内容を充実する。 室内の業務マニュアルを作成する。 現状の電算機器で電子決済が可能なのかを年度内に判断する。	6月23日に研修を実施。 事務処理手順として、「前金払い」、「検収年月日」について、を発出しました。 分かり易い手引書の改訂版を準備中。 業務マニュアル作成についての職員研修に参加し準備中。 電子決済について	手引書は現状に合わせて改訂中 室内の業務マニュアルを作成し、職員で精査中。	翌会計年度に向け「前金払い、概算払い」について周知しました。 手引書は現状に合わせて精査しました。 室内の業務マニュアルを作成しました。

				は、現状の財務会計システムではできない。次回リプレース時に導入できるように調査します。財務会計だけでなく、文書管理の機能も必要です。		
2	有効な資金の運用	市場調査や情報の収集に努めるとともに、安全かつ有効な運用方法を検討します。	市場状況に基づいた有効な資金運用を行います。年度当初の基金計は10,422百万円です。運用益は100百万円(約1%)を目標にします。	9月末で14,881,354円の運用益を得ました。	1月末で23,033,480円の運用益を得ました。	3月末で31,651,553円の運用益を得ました。